



令和6年8月26日(月)

しなやかに取り組む姿勢とは

4か月間の1学期で、子どもたちはそれぞれのペースで成長をしました。神足小学校では、「試行錯誤」し、自分の考えを「アップデート」とするという姿を大切に取り組んでいます。試行錯誤するためには、学びに向かう姿勢が重要になってきます。

1985年にアメリカの心理学者であるエドワード・デシとリチャード・ライオンが提唱した「自己決定理論」では、人に指摘されて行動するところから、自発的に行動するに至るまでの道筋が研究によって明らかにされています。学校の学びで目指したいのは、もちろん自発的な学びです。「やりたい」「やっているそのものが楽しい」という思いをもつためにどうすればいいのか、日々悩んでいます。さらに、このような思いは、以下の3つが支えとなっているといわれています。

- ① 自律性 自分で選択し、行動する力
- ② 有能性 何かを成し遂げた時の達成感や自己効力感
- ③ 関係性 他者とのつながりや共感を求める心の動き

この3つは、様々な経験の積み重ねで育っていきます。学校だけではなく、家での過ごし方も大きな「経験」となります。この3つが経験できるような場を一緒に考えてもらえるとうれしいです。





学年コーナー 5 年



学年目標 考動×挑戦

5年生の学年目標は、「考動×挑戦」です。

「考動」…考えて行動したり、行動しながら考えたりしながら、よりよいアクションを起こす。

「挑戦」…何事もやってみることで、感想や意見を持ちます。この式から、どのような答えが導くことができたのかを、日々の学習活動や行事ごとに振り返り、自分（達）がつけた力を確かめていきます。

遊び大会

7月10日、遊び大会がありました。5年生は今年から学級を二つに分けてコーナーを設営しました。

取り組みが始まる時に、遊びを企画、運営していく過程で、どんなしなやかさを自分自身がつけたいのかを自分自身の目標を設定しました。また、遊び大会が終わった後に、取り組みを通してどのようなしなやかさが成長したかを振り返りました。

なんとなく行事に取り組むのではなく、自分自身の目標を決めて取り組むことで、目的意識のある行事になったようです。

【遊び大会の前に】 自分のしなやかさは いま どんなんじ？

		できている	できていない
自分を見つめる力	1 自分のいいところやがんばっているところを褒められる。	4	3 2 1
	2 うまくいかないことがあっても、自分で気持ちを切りかえられる。	4	3 2 1
自分を高める力	3 目標を決めて、コツコツとがんばれる。	4	3 2 1
	4 よりよくしようと考えて行動ができる。	4	3 2 1
友達とつながる力	5 友達の良いところやがんばっているところを褒めようとするができる。	4	3 2 1
	6 友達と意見が合わなかったり、失敗したりしたときに、ささげあったり、助けあったりできる。	4	3 2 1
	7 みんなの中で、自分が何をすべきかを考えて、意見を言ったり、行動したりすることができる。	4	3 2 1

遊び大会を通して、自分が伸ばしたい しなやかさ（一つ選んで書く）

その力を伸ばしたいと思った場面を書く

【行事を終えて】 自分のしなやかさは いま どんなんじ？

		できている	できていない
自分を見つめる力	1 自分のいいところやがんばっているところを褒められる。	4	3 2 1
	2 うまくいかないことがあっても、自分で気持ちを切りかえられる。	4	3 2 1
自分を高める力	3 目標を決めて、コツコツとがんばれる。	4	3 2 1
	4 よりよくしようと考えて行動ができる。	4	3 2 1
友達とつながる力	5 友達の良いところやがんばっているところを褒めようとするができる。	4	3 2 1
	6 友達と意見が合わなかったり、失敗したりしたときに、ささげあったり、助けあったりできる。	4	3 2 1
	7 みんなの中で、自分が何をすべきかを考えて、意見を言ったり、行動したりすることができる。	4	3 2 1

自分で決めたしなやかさを伸ばすために 遊び大会をやってみてどうでしたか？ 次はどうしたいですか？

遊び大会前に書いた時の「考動を意識する」ができたので嬉しいです。みんなで協力して活動が足りない時を作ったりできたので嬉しいです。次回ではみんなで協力して工夫しながら考えたりしていきたいです。

準備段階の場面⇒自分の意見が伝えられたことや、協力できたことに成長を実感する児童
遊び大会 当日⇒協力して仕事をできたことや、たくさん低学年がきてくれたことにうれしさを感じる児童

など、それぞれの視点で行事を振り返っていました。客観的に自分を見つめることは難しいですが、2学期も行事を更なる成長の機会へとつなげていってほしいです。

神足小が目指す児童像（至誠・進取・敬愛）に向け、どのような取組を行っているのか、「研究だより」を通してお伝えしていきます。児童・教師・保護者の方々が“心と力を合わせて一緒に糧を漕ぐ”ことができますように。